

切手の誕生

現在、私たちが利用する郵便制度は、切手があって初めて成り立っています。切手は、手紙や物を目的地まで届けるために重要な役割を果たしています。



「近代郵便・切手の父」ローランド・ヒル



世界最初の切手
ペニー・ブラック

切手は1840年、イギリスで生まれました。
当時、イギリスの郵便制度は不便で高く、誰もが利用できるものではありませんでした。そこでローランド・ヒル(1795-1879)が、より安く簡単な制度を提案し、切手が誕生したのです。

切手の意味

私たちが手紙を出すときには、前もって買った切手を手紙に貼ります。
切手は、「手紙を出した人がすでに郵便料金を支払った」ことを証明しているので、目的地まで届けられます。



「日本郵便の父」前島密



竜文切手 48文



竜文切手 100文



竜文切手 200文



竜文切手 500文

日本では、前島密によって1871(明治4)年、近代的な郵便制度が始まりました。これにともなう初めて4種類の切手が発行されています。
日本で「切手」と名付けたのも、前島密です。「切手」は、「切符」と「手形」を合わせた言葉で、金銭の受け取り証・預かり証を意味しています。

H20 I切手ワンダーランド「切手の誕生」

管理番号 T236 jpg292 タテ776 ヨコ1176

切手の特徴

目打ち

あらかじめシートにあけられた穴。切手は、この目打ちで切りとるためギザギザの形をしています。きれいに切り取りやすくするだけでなく、図柄の枠として、切手を美しく見せる効果もあります。

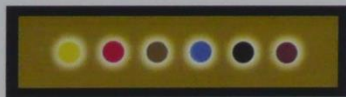
額面とローマ字国名



切手には、額面のほかに、万国郵便連合の規則で必ずローマ字の国名が入っています。

カラーマーク

切手の印刷に何色を使い、どの順番で印刷したか(左から右へ)を示しています。印刷ミスを防ぐための検査にも使われます。

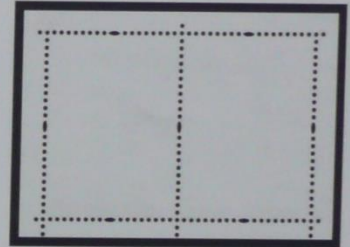


表題

切手趣味週間

のり

水にぬらすとくっつきます。主にポリビニールアルコール(PVA)という成分でできているので、なめて大丈夫です。



銘版

国立印刷局製造

切手を製造した場所を示します。

発行日

平成20年4月18日

表題とともに記念行事に合わせて発行される特殊切手に必ず入っています。いつでも発行されている普通切手にはありません。

H20 I切手ワンダーランド「切手の特徴」

管理番号 T237 jpg293 タテ776 ヨコ1176

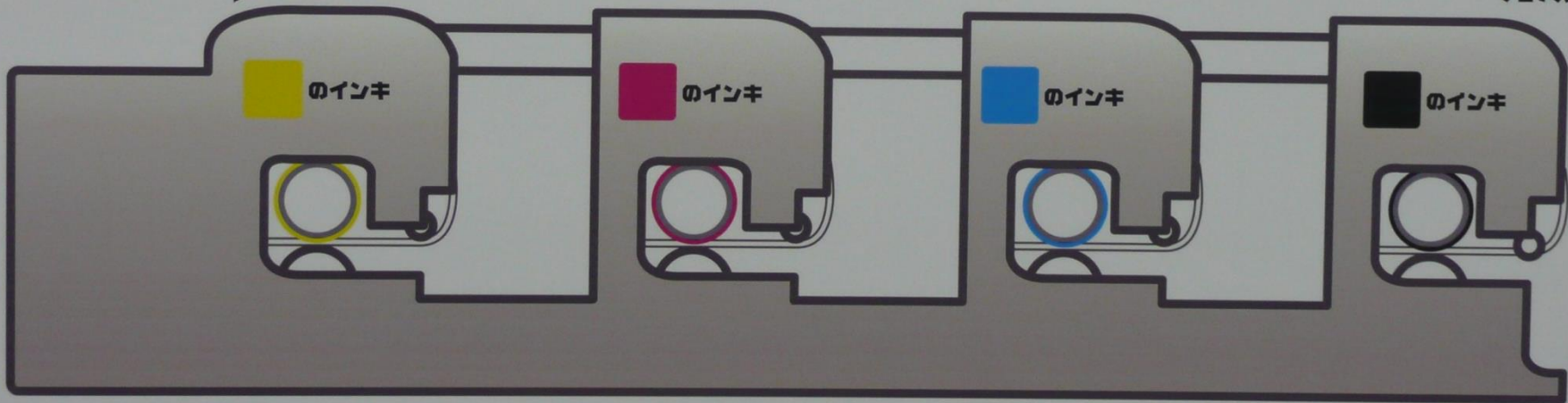
た しよく かさ す 多色重ね刷り

いろ す かさ
色を刷り重ねていくことで、さまざまな色が表現できます。
つか いろ かず きって こと
使われるインキの色や数は、切手によって異なります。



かみ なが
紙の流れ →

かん せい
完成



グラビア輪転印刷機

H20 I切手ワンダーランド「多色重ね刷り」

管理番号 T239 jpg295 タテ776 ヨコ1176

きって ようし 切手用紙



古くは偽造防止のため、印刷方法だけでなく、切手用紙にもさまざまな工夫がなされていました。最近では、小さく細かい図柄をより美しく印刷するための工夫に力を入れています。



い すかし入り



すかしは、伝統的な偽造防止技術として、お札にも使われています。現在、切手にはほとんど使われていません。



にほんきって
日本切手の
波型すかし
1913年



エリザベス女王即位50年にちなむ「50」のすかし
イギリス 2002年

ちやくしょく せん い 着色繊維入り

赤や青などの色をつけた木綿の細かい繊維くずを入れたもので、「毛紙」とも呼びます。



にほんきって
日本切手の
着色繊維(裏)
1913年



おもて
(表)



アメリカ 1967年

いろ 色つき

紙に淡い色をつけることで、偽造防止はもちろん、図柄の背景として単色印刷(特に凹版)を引き立たせます。



にほんきって
日本切手の着色紙
1928年



スウェーデン 1973年



アメリカ 1975年



H20 I切手ワンダーランド「切手用紙」

管理番号 T240 jpg296 タテ776 ヨコ1176

さまざまな印刷・加工

オーブアイ こうがく てきへんか

OVI(光学的変化インキ)

見る角度によって、金から緑、緑から黒など、インキの色が変化します。お札の印刷にも使われています。



中心部分が金から緑へ変化
ウクライナ 5フリブニャ 1999年



右上の女王横顔が緑から金へ変化
イギリス 1ポンド 1988年

いん さつ か こう

変形シート



アゼルバイジャン 1マナト 2007年



ニューカレドニア 30・70フラン 2002年

パールインキ

真珠のような輝きを持つインキで印刷しています。



オーストラリア 45セント 1996年



ノルウェー 4.2クローネ 2000年

エンボス

金箔や銀箔に型押しをして、シリーフのように見せたものです。



銀箔にエンボス加工
カナダ 49セント 2004年



金箔にエンボス加工
オーストラリア 50セント 2005年

H20 I切手ワンダーランド「さまざまな印刷・加工」

管理番号 T241 jpg297 タテ776 ヨコ1176

とく しゅ そ ざい つか きっ て 特殊な素材を使った切手



ししゅう 刺繍をほどこした切手



ししゅうされているのは
国花エーデルワイス
オーストリア
375セント 2005年

かみ いがい そ ざい つか つく きっ て
紙以外の素材を使って作った切手。

じつようてき 実用的とはいえませんが、み ひと たの
見る人を楽しませてくれます。

きぬ せい 編製の切手



ポーランド 50ズウォティ 1958年

い そ ざい は つ っ け た きっ て 異素材を貼り付けた切手

は っ け た きっ て
クリスタルガラスを貼った切手



クリスタルガラスで、オーストリア・
プラタ遊園地にあがる花火を表
現しています。
オーストリア 375セント 2006年

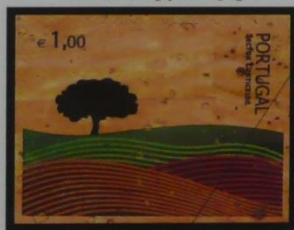


オーストリア 375セント 2004年

もく せい 木製の切手



せい 製 コルク製の切手



ポルトガルは世界一をほこるコルク
生産国で、この切手は世界初のコルク
でできた切手。
ポルトガル 1ユーロ 2008年



マツ科トウヒの木でつくられ、厚さ
0.7mm
スイス 500セント 2004年

はな しゅ し は つ っ け た きっ て
花の種子を貼り付けた切手



5種類の花(ベチュニア、リナリア、
キンギンソウ、ロベリア、カーネー
ション)の種が中心部に貼り付け
られています。
オランダ 44セント 2007年

もく へん は つ っ け た きっ て
木片を貼り付けた切手



トラファルガー海戦200年記念の切手。
船体部分に海戦で活躍したヴィクトリー
号の木片が貼り付けられています。
ジブラルタル 1.6ポンド 2005年



ガンビア
80ダラシ 2006年

H20 I切手ワンダーランド「特殊素材使用切手」

管理番号 T242 jpg298 タテ776 ヨコ1176

デザインのいろいろ

マイクロ文字切手



世界人権宣言50周年
(日本)



拡大すると、図柄が
マイクロ文字ででき
ているのがわかります。

くじ付き切手



お年玉くじ付き
年賀切手(日本)

切手の中に、6
桁の抽選番号が
印刷されています。

メッセージ切手



ハッピー・バースデー(アメリカ)

手紙の内容に合わせて、いろいろな
メッセージを伝える切手があります。

CM入り切手



伝説上の生物(カナダ)

切手のマージン部分に、民間企
業の宣伝が印刷されています。

アニメ切手



ポケモン
(リベリア)

日本のアニメは、外国の切手の
図柄にも採用されています。

裏面印刷切手



ユーロの導入
(オーストリア)



裏面に、ユーロ以前に使わ
れていたシリング通貨に関
する図柄が印刷されています。

H20 I切手ワンダーランド「デザインのいろいろ」

管理番号 T243 jpg299 タテ776 ヨコ1176

き っ て び
切手の美

「紙の宝石」・「小さな外交官」

切手には、さまざまな技術を使って美しいデザイン・図柄が精巧に印刷されています。これが、別名「紙の宝石」「小さな芸術品」と呼ばれる理由です。

また、産業・文化など国を代表するものを描き、それを世界中にアピールすることから、「小さな外交官」と呼ばれることもあります。

日本切手の美・芸術性をアピールする「切手趣味週間」切手

毎年1回発行される「切手趣味週間」切手には、有名な日本画が描かれています。最近では、干支がテーマになっています。



凹版切手 ボッティチェリ「春」
モナコ 15フラン 1995年



ホログラム切手 香港特別行政区成立10年 香港 10ドル 2007年



菱川師宣「見返り美人」
1948年



安藤広重「月に雁」
1949年



金箔エンボス切手 馬車
ロシア 25ルーブル 2002年



グラビア+凹版切手
第3次国宝シリーズ
日本 100円 1989年



森狙仙「雨中桜五匹猿図」
2004年



伊藤若冲「大鶏雄図」
2005年



円山応挙「朝顔狗子図杉戸」
2006年

H20 I切手ワンダーランド「切手の美」

管理番号 T244 jpg300 タテ776 ヨコ1176